

炭酸ガスレーザー治療を受けられる方へ

炭酸ガスレーザーとは

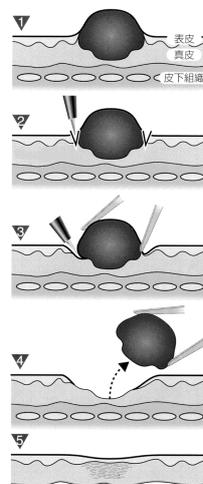
炭酸ガスレーザー光線は、波長 10600 nm の不可視光線で、組織内の水分に吸収され熱に変わります。炭酸ガスレーザーは、組織を瞬間的に焼き切るレーザーメスとして、また組織を凝固・蒸散させたりするのに使用します。これらの作用を利用して黒子やいぼの治療を行います。

治療

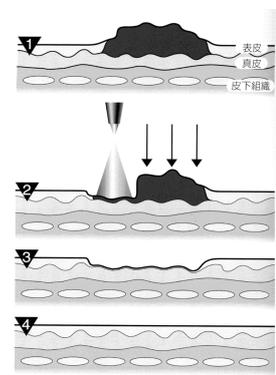
まず病変部に局所麻酔の注射をします。麻酔がよく効いてからレーザー治療を始めます。レーザー治療は1カ所につき数分で完了します。この間は目を閉じていてください。

炭酸ガスレーザーの適応病変

黒子（母斑細胞母斑）	胼胝腫
尋状性疣贅	表皮母斑
脂漏性角化症	汗管腫
血管拡張性肉芽腫	眼瞼黄色腫
線維腫・アクロコルドン	尖圭コンジローマ
脂線増殖症	



黒子の治療



脂漏性角化症の治療

治療後

レーザー治療を行った部位には軟膏を塗ってください。ガーゼなどで覆う必要はありません。照射後の痛みはほとんどありません。洗顔・入浴の制限はありませんが、化粧品、特にファンデーションを塗り込むのは避けてください。かさぶたができた場合には、無理にはがさないでください。治療した部位の表面が乾いたピンクの皮膚で覆われるようになるまで軟膏処置を続けてください。治るのに要する期間は病変の深さ・面積により異なり、10日から4週間です。

経過

照射部の赤みは3ヶ月から6ヶ月で徐々に目立たなくなります。赤みがある間は色素沈着を防止するため、日焼け止めクリームなどを使用して、できるだけ紫外線を避けるようにしてください。炭酸ガスレーザーで顔面の黒子を治療した部位には、皮膚の表面よりもわずかにくぼんだ跡が残ります。表皮の加齢変化である脂漏性角化症をレーザーで治療した部位は、ほとんど跡を残さずに治ります。病変が再発したり、濃い色素沈着が生じたり、照射部の赤みがなかなかとれず傷跡が盛り上がってきた場合には、また受診してください。

治療に関してご希望・お問合せの方は あさひ病院 形成外科 までご相談ください。

あさひ病院 形成外科 診察日：毎月第4金曜日 15時～17時（予約制）。

TEL:0568-85-0077